

令和4年度自己評価結果

種 別 児童自立支援施設
施設長 名 井口 敦人
実施日 令和4年10月1日～10月31日
自己評価分析実施日 令和5年1月4日
自己評価分析会議参加者 園長、副園長、課長、男子寮L、女子寮L、総務L

【自己評価結果（詳細は別紙参照）】

1 良かった点

- ① 令和元年度に発生した被措置児童虐待事案の検証結果を踏まえた各種改善策に引き続き学園一丸となって取り組み、男女各寮の規則・生活ルール等の見直し及び統一化、各種会議等の効率化、職員研修の更なる充実などを実施し、一定の成果を挙げた。
- ② 恒常的な人員不足に加えてコロナ渦による業務負担増等、厳しい状況が続く中、様々な創意工夫や試行錯誤を重ねながら、概ね問題なく寮運営がなされている。

2 課題

- ① 昨年度以前から、女性職員の産休・育休代替職員が見つからないなど欠員状態が続いており、ハローワーク等で募集をしているが、なかなか採用に結びつかない。加えて年度途中で休職者や退職者も出たため、人員不足が継続的かつ最大の課題となっている。
- ② 地域との交流や地域貢献という項目で評価が引き続き低くなったが、人員不足やコロナ渦も相まって解消は中々難しい。

3 まとめ

今回の自己評価で良い評価を得られた項目については、この評価を維持・向上できるよう、成果のフィードバックを行って次に活かしていく。一方、低評価だった項目については、改善に向けた取り組みを順次進めていく。